

“Create the future with *n*”



# 2024年3月期第1四半期 決算説明会資料

証券コード 6306

**日工株式会社**

取締役副社長 藤井 博

2023年9月5日

トピックス ▶ P.3-4

---

2023年度1Q決算説明 ▶ P.5-18

---

株主還元方針 ▶ P.19

---

参考資料 ▶ P.20-23

---

会社情報 ▶ P.24-29

---

※本資料の増減数値は単位未満の端数処理により  
末端数値が四半期報告書と異なる場合があります。

7月6日 『株式会社松田機工』 全株式取得により子会社化

## 株式会社松田機工

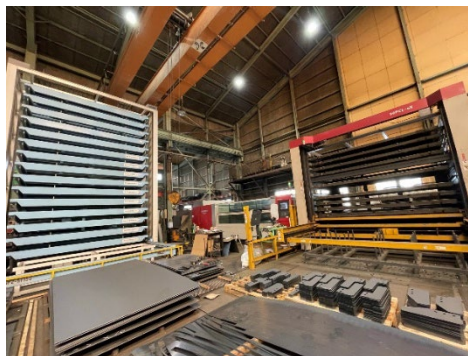
設立 : 1987年9月

資本金 : 10百万円

事業内容 : 各種プラント、産業機械などの製造・組立

主要取引先 : 大手プラントエンジニアリング会社  
環境関連機械メーカーなど

強み : レーザー切断から2次加工、製缶溶接、組立、試運転、検査まで  
自社一貫製作が可能  
熟練した製造技術と高い品質と検査体制  
柔軟な納期対応、顧客からの高い信頼と実績



目的：委託製造事業の拡大及び製造の内製率の向上

## 相互シナジーの創出



- 22年3月子会社化した『宇部興機株式会社』（主要事業：プラント向け製缶加工・組立）『日工株式会社の製造外販部門』と主要顧客が異なり相互協力が可能
- 日工、宇部興機との設備補完により、相互協力体制を構築

※宇部興機株式会社 (<http://ubekohki.co.jp/>)

事業内容：ガスホルダーの設計・製造・工事施工  
各種プラント設備・産業機械の製造・据付工事  
ソーラー関連商品の開発製造販売

主要取引先：大手メーカー、プラントエンジニアリングなど

強み：自社製品のガスホルダーを主体に、タンク類や大型製缶品の製作・現地工事を行う  
多くの協力会社ネットワークを持ち、日本全国に納入

## 2023年度1Q実績

(単位：百万円)

第1四半期（4-6月）	実績	対前年同期	増減率
売上高	8,446	△1,058	△11.1%
営業利益	△99	△282	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	27	△113	△80.5%

- ▶ AP事業売上高：国内製品増、メンテナンス減、海外は大幅減（輸出大幅減、中国半減、タイ減少）
- ▶ BP事業売上高：国内製品減、メンテナンス増
- ▶ 受注高は、AP微増、BP減

## 事業環境

### AP事業

23年度1Q（4-6月）	実績（万トン）	対前年同期比
合材製造量	738	△5.1%
新規合材	183	△8.6%
再生合材	554	△3.9%

再生合材比率	75.1%
--------	-------

資料出所：（一社）日本アスファルト合材協会

### BP事業

23年度1Q（4-6月）	実績（万m <sup>3</sup> ）	対前年同期比
生コンクリート出荷量	1,735	△5.0%

資料出所：全国生コンクリート工業組合連合会・全国生コンクリート協同組合連合会



AP関連事業：国内AP本体受注高が対前年同期比+21.7%  
→P.11 AP関連事業



環境及び搬送関連事業：受注高が対前年同期比+71.0%  
→P.14 環境及び搬送関連事業



受注残高は高原状態を継続  
→P.21 事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）



モバイルプラント：受注高 22年度 3台110百万円→23年度 5台 290百万円  
売上高 22年度 4台144百万円→23年度 10台 498百万円と好調を維持  
→P.15 その他事業



AP関連事業：国内プラント売上高が対前年同期比+40.1%となるもメンテナンスサービスが  
対前年同期比△22.6%減少



AP関連事業：中国が受注高△47.8%、売上高△48.4%と半減  
→P.11-12 AP関連事業

# 2023年度 1Q業績ハイライト (2)

## 対前年同期実績

- ▶ 売上高 : 国内AP製品増 (+3.6億円)、BP製品減 (△2.9億円)、海外減 (△10.9億円)、環境及び搬送前年並み、その他事業売上高増 (+1.9億円)
- ▶ 営業利益・四半期純利益 : 中国、APメンテナンスサービス、BP製品の売上高減少により減少
- ▶ 受注高 : AP事業 (+1.3億円)、BP事業 (△2.9億円)、環境搬送 (+4.1億円)、その他事業 (+3.2億円)
- ▶ 受注残高 : AP事業 (+15.9億円)、BP事業 (+1.2億円)、環境搬送 (△0.3億円)、その他事業 (+11.2億円)

(単位：百万円)

	2022年度			2023年度					
	1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	通期予想 進捗率	上期予想 (修正)	上期予想 (当初)	通期予想
売上高	9,504	18,760	39,665	8,446	1,058 11.1%	19.2%	17,000	19,000	44,000
営業利益	183	399	1,028	99	282 —	—	50	400	1,900
営業利益率	1.9%	2.1%	2.6%	1.2%	—	—	0.3%	2.1%	4.3%
経常利益	326	548	1,255	67	259 79.4%	3.5%	190	400	1,900
親会社株主に帰属 する当期純利益	140	259	1,020	27	113 △80.7%	2.3%	60	200	1,200
受注高	10,217	18,949	40,849	10,777	+560 +5.5%	25.0%	20,442	19,452	43,038
受注残高	17,202	16,660	17,656	19,987	+2,785 +16.2%	—	21,098	18,108	16,694

# 2023年度 1Q業績ハイライト (3)

(単位：百万円)

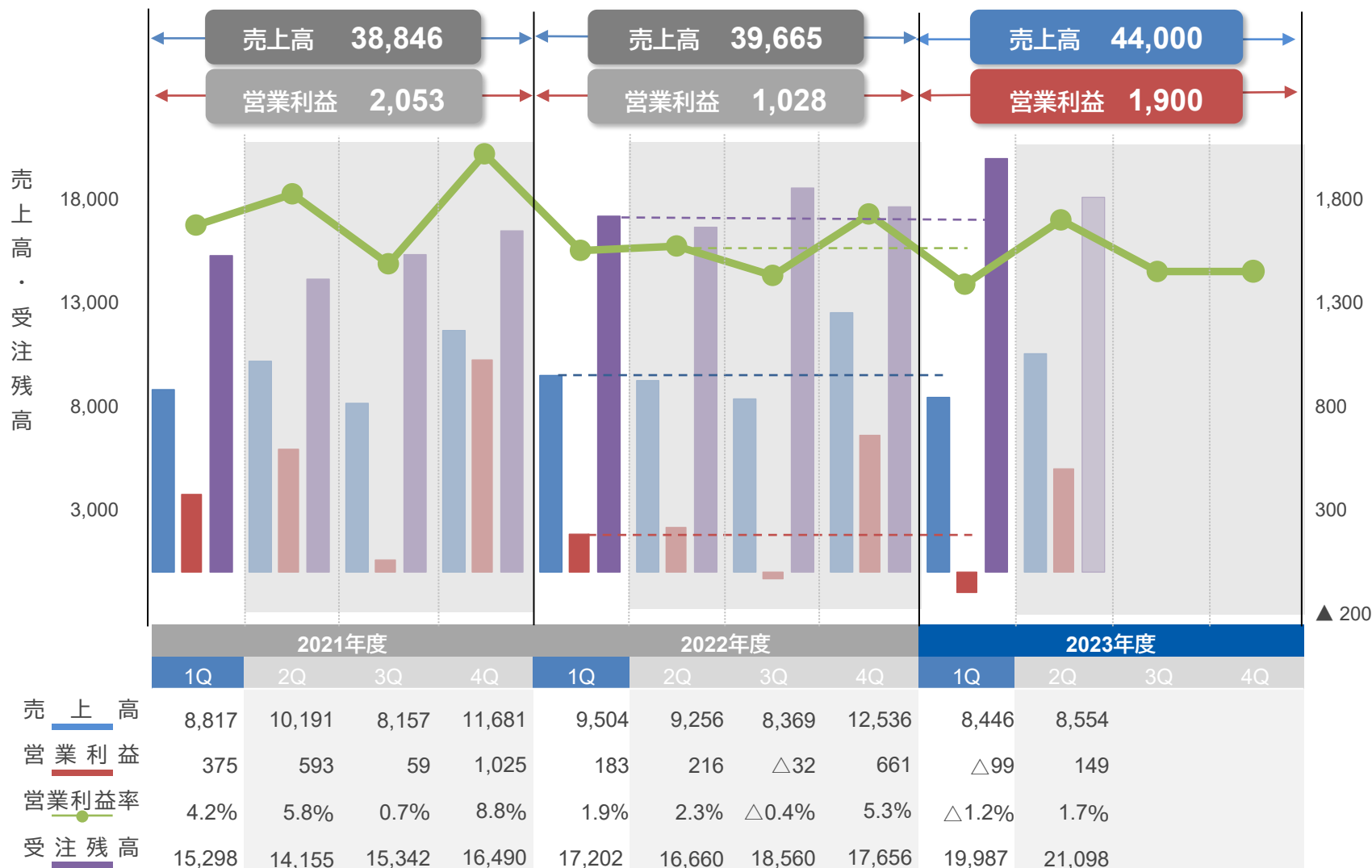
		2022年度			2023年度					
		1Q実績	上期実績	通期実績	1Q実績	前年同期比	通期予想進捗率	上期予想(修正)	上期予想(当初)	通期予想
AP関連事業	売上高	4,982	8,652	17,341	3,796	1,186 23.8%	19.5%	7,500	9,500	19,500
	営業利益	139	132	49	92	231 166.2%	—	50	300	600
	営業利益率	2.8%	1.5%	0.3%	2.4%	—	—	0.7%	3.2%	3.1%
BP関連事業	売上高	2,381	5,314	11,111	2,313	68 2.9%	20.1%	4,500	4,500	11,500
	営業利益	211	505	1,017	169	42 19.9%	14.1%	500	500	1,200
	営業利益率	8.9%	9.5%	9.2%	7.3%	1.6pt	—	11.1%	11.1%	10.4%
環境及び搬送 関連事業	売上高	640	1,222	2,888	644	+4 +0.6%	21.5%	1,350	1,350	3,000
	営業利益	147	236	522	126	21 14.3%	25.2%	200	200	500
	営業利益率	23.0%	19.3%	18.1%	19.6%	3.4pt	—	14.8%	14.8%	16.7%
その他事業	売上高	1,501	3,571	8,324	1,693	+192 +12.8%	16.9%	3,650	3,650	10,000
	営業利益	31	253	1,044	104	+73 +235.5%	8.3%	200	200	1,250
	営業利益率	2.1%	7.1%	12.5%	6.1%	+4.0pt	—	5.5%	5.5%	12.5%

- ▶ AP関連事業売上高 : 国内事業売上高 対前年同期比△3.1%、海外事業売上高 対前年同期比△53.7%
- ▶ BP関連事業売上高 : 対前年同期比△2.9%
- ▶ 環境及び搬送関連事業売上高 : 対前年同期比+0.6%
- ▶ その他事業売上高 : 対前年同期比+24.9%



## 四半期別売上高・営業利益推移

(単位：百万円)



## 23年度商況

- フォームド装置（中温化合材製造装置）の売上堅調
- プラントの受注済案件の納入・売上計上
- 道路業界の工事費値上げに拠る収益改善に伴い、下期以降、昨年抑制されていたプラントメンテナンス需要回復
- BPは市況の安定が継続しており高い需要が継続
- 環境・搬送は大阪万博、IR関連の案件の受注～売上を見込む

## 23年度の業績見込み（当初）

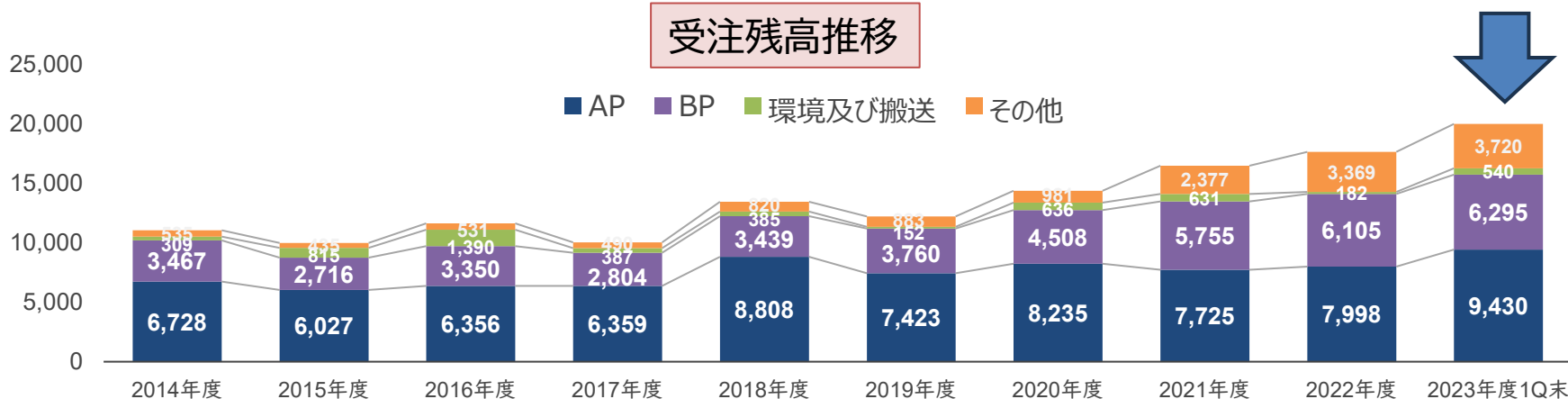
売上高	上期	190億円	（前年同期比 +2.4億円）
	通期	440億円	（前年同期比 +43.3億円）
営業利益	上期	4億円	（前年同期比 +0.0億円）
	通期	19億円	（前年同期比 +8.7億円）

## 23年度の業績見込み（修正）

売上高	上期	170億円	（前年同期比△17.6億円）
	通期	440億円	（前年同期比 +43.3億円）
営業利益	上期	0.5億円	（前年同期比 △3.4億円）
	通期	19億円	（前年同期比 +8.7億円）

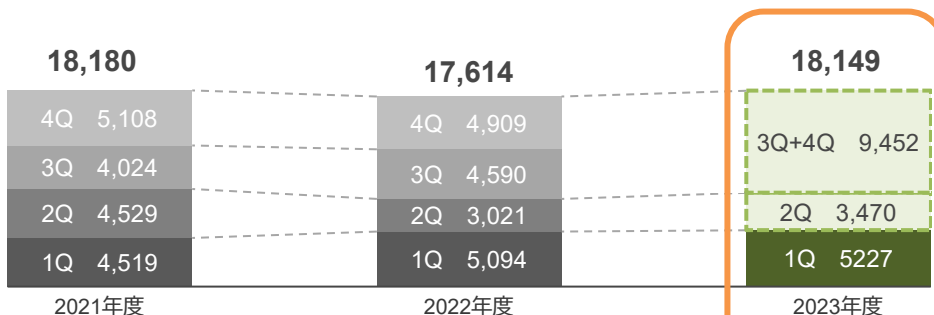
★通期見込み変更なし

## 受注残高推移



## 受注高

(単位：百万円)



## ▶ 受注高

・対前年同期比 +2.6%

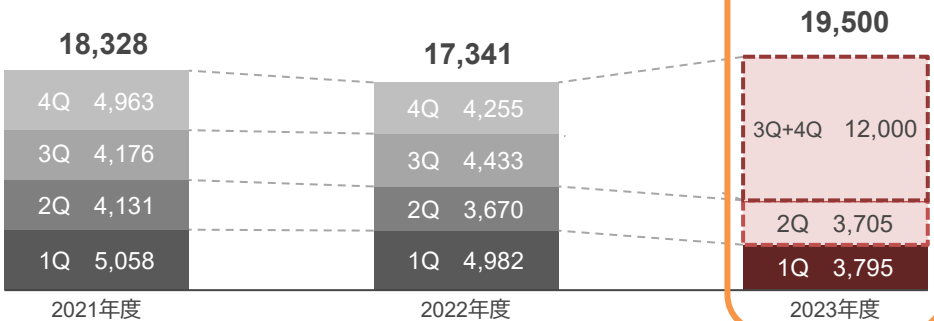
(要因)

+要因 タイ：プロモーション販売戦略による受注増加

△要因 中国：中国経済の減速により需要急減

★国内では大型案件の期ズレが発生。メンテナンスサービスでは顧客の原価アップによる設備投資躊躇が継続するも、対前年同期比+10.4%増

## 売上高



## ▶ 売上高

+要因

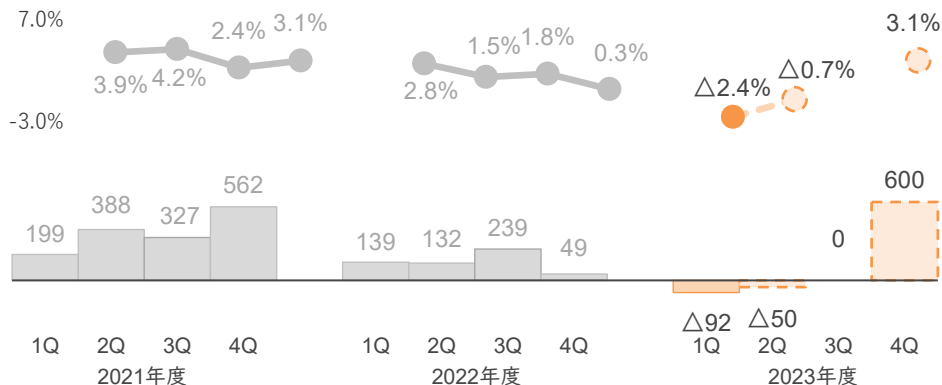
・国内：国内：アスファルトプラントのCO2排出量を抑制するフォームド装置の拡販が順調（11台）

△要因

・海外：中国：高速道路の大型工事が一服。新規工事用プラントは需要減。定置プラントは申請等で納期遅延

タイ：政治改革に伴う工事発注停滞により減少

## 営業利益・営業利益率（累計）



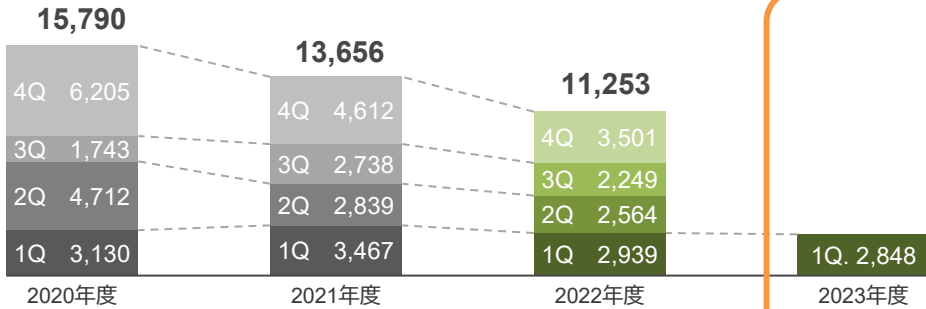
## ▶ 営業利益

△要因

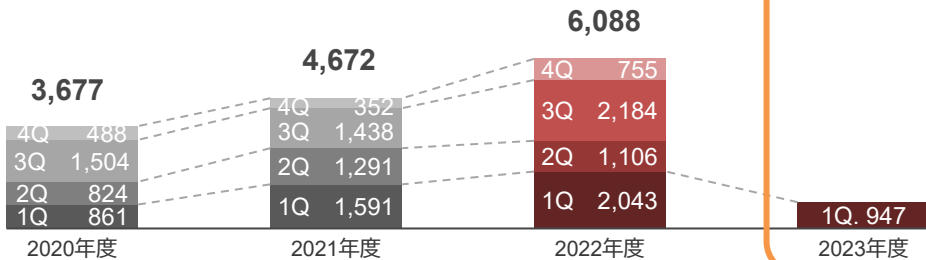
- ・国内：鋼材、購入品価格高騰による影響  
業界業績悪化により高騰原価の価格転嫁が遅延し、メンテナンスサービスの売上減少が継続
- ・中国：鋼材、購入品価格は安定も、売上減で大幅ダウン
- ・タイ：工場設備改善投資及びコストダウン対策進捗途中

## 国内売上高

(単位：百万円)

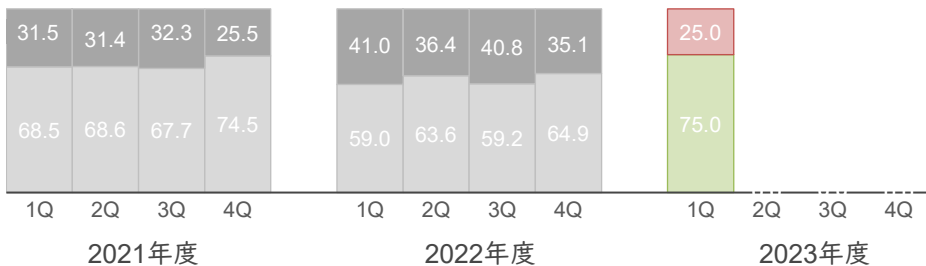


## 海外売上高



## 海外比率

国内 海外 (単位：%)



## 国内

- ・プラント製品、対前年同期比 +40.1%
- ・メンテナンス、対前年同期比  $\Delta$ 22.6%

## 海外

- ・対前年同期比  $\Delta$ 53.7%
  - ・輸出：対前年比  $\Delta$ 80.2%
  - ・中国：対前年比  $\Delta$ 48.4%
  - ・タイ：対前年比  $\Delta$ 98.4%

### ○中国

ゼロコロナ解除後の景気回復期待も地方政府の財政悪化により、インフラ投資急減。設備投資は様子見傾向。年内回復は期待薄

利益は鋼材価格等の原材料価格が安定するも、売上減と価格競争激化により利益確保に苦戦。更なるコストダウンに注力

### ○タイ

上期0台下期10台売上予定  
下期向けプロモーション販売企画にてAP5台  
プロモーション対象外2台 リサイクル 2台受注予定 (前期注残1台)

### ○輸出（台湾、海外業務）

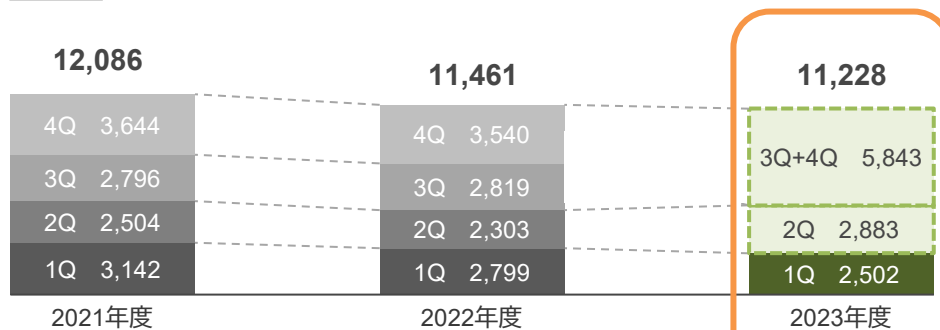
台湾は製品、部品ともに堅調

## 海外受注高・受注残高

	受注高	受注残高
中国（日工上海）	9.7億円 ( $\Delta$ 47.8%)	15.0億円 ( $\Delta$ 53.8%)
タイ（NAT）	6.4億円	6.8億円
輸出	(+2,369.2%) 4.3億円	(+157.3%) 5.0億円

## 受注高

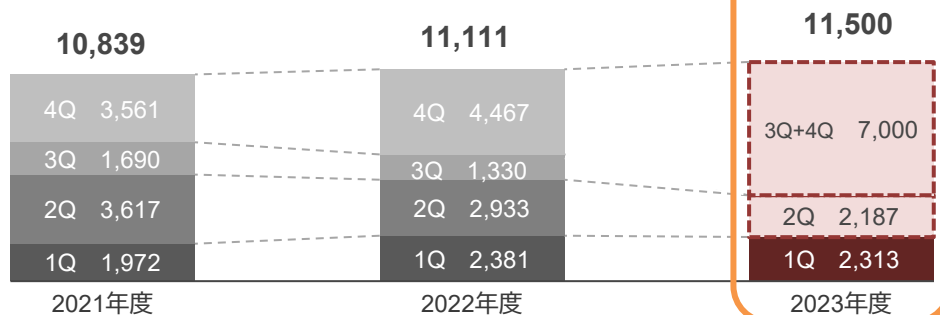
(単位：百万円)



### ▶ 受注高

- ・対前年同期比  $\Delta$ 10.6%
- (要因)
- $\Delta$ 要因：大型案件の減少により受注高が減少

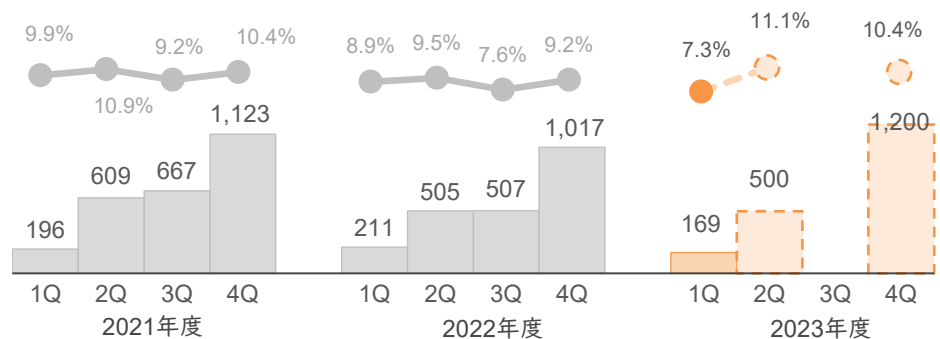
## 売上高



### ▶ 売上高

- ・対前年同期比  $\Delta$ 2.9%
- ・プラント製品：対前年同期比  $\Delta$ 22.8%
- ・メンテナンス：対前年同期比 +24.6%
- (要因)
- $\Delta$ 要因：大型案件、5月GW工事の減少によりプラント製品売上高が減少

## 営業利益・営業利益率（累計）



### ▶ 営業利益

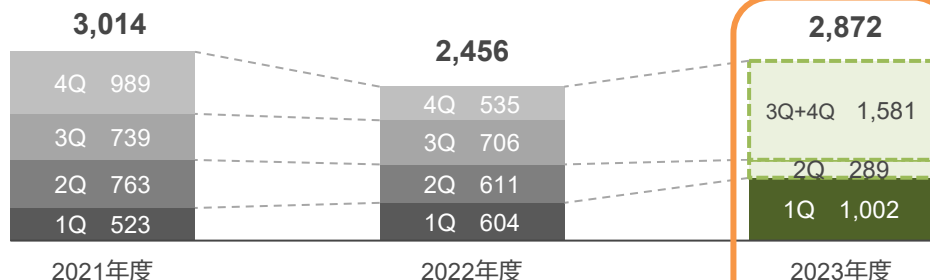
- ・営業利益：対前年同期比  $\Delta$ 14.3%
- ・営業利益率：対前年同期比  $\Delta$ 1.6pt
- (要因)
- $\Delta$ 要因：ユニット商品の中に原材料価格高騰による低マージン案件があり利益減少

### 23年度見込

- 22年度末よりプラスの受注残高を持つスタート
- ・生コン業界は電力や原材料、輸送コストなどのコストアップ分を適正に価格転嫁し物価資料の掲載価格などにも反映されたことにより市況が安定
- 安定した需要が継続見込み

## 受注高

(単位：百万円)



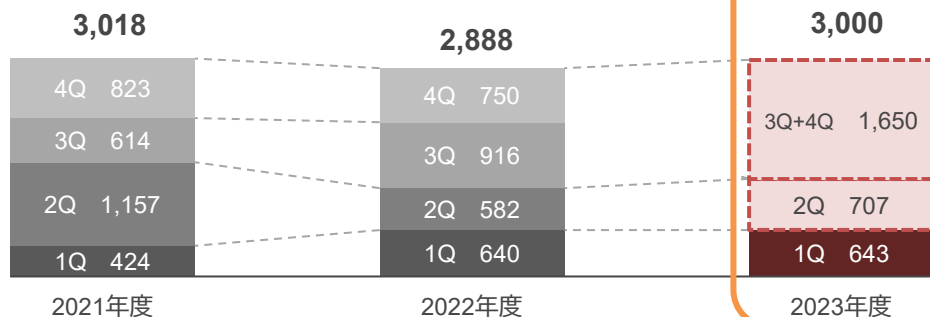
### ▶ 受注高

対前年同期比 +71.0%

(要因)

+ 要因：環境部門残土処理用大型案件が2件受注となり  
対前年同期比+199%

## 売上高



### ▶ 売上高

対前年同期比 +0.6%

(環境 △5.0%、搬送 +1.6%)

### ▶ 営業利益

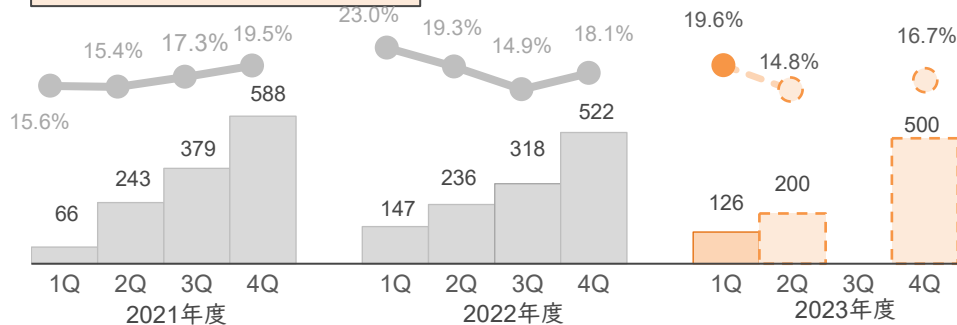
・ 営業利益 対前年同期比 △14.3%

・ 営業利益率 対前年同期比 △3.4pt

(要因)

△要因：環境物件で昨年あった高マージン案件分が剥落

## 営業利益・営業利益率 (累計)



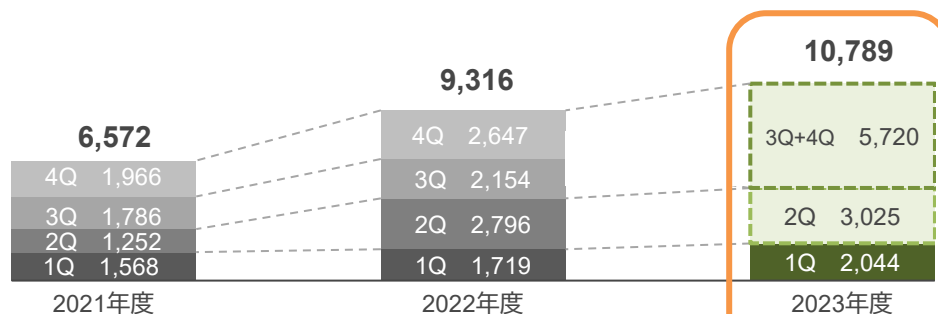
## 23年度見込

環境事業：大阪万博、IR関連に絡む案件など、大型案件の商談多数有り増収見込。残土処理案件多い。残土処理関係の商談増加に伴い、石膏関係の固化材製造装置の商談も増加傾向

搬送事業：コロナ禍明けで訪問件数増加により売上高増

## 受注高

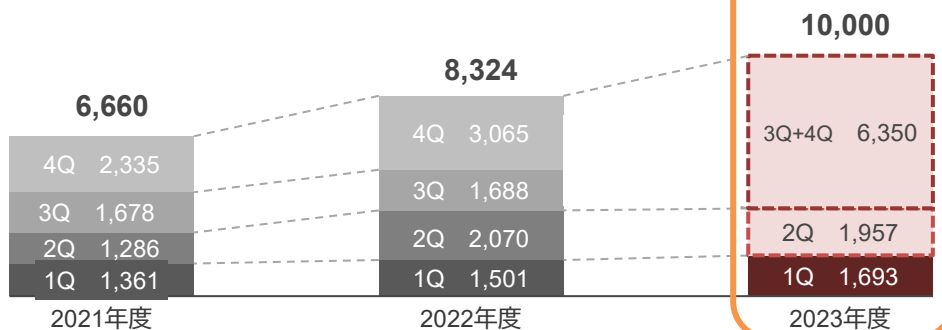
(単位：百万円)



## ▶ 受注高

- ・セグメント全体対前年同期比 +18.9%
- ・宇部興機 対前年同期比 +183百万円
- ・モバイルプラント(MP)事業 第1四半期は、前年比増で推移  
2022年度 110百万円 (3台)  
2023年度 290百万円 (5台)

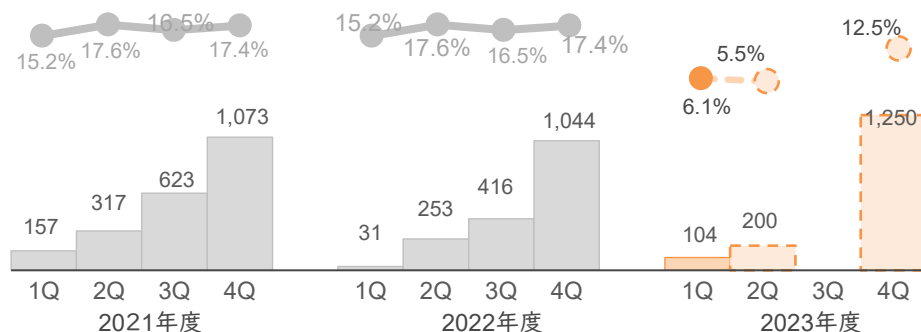
## 売上高



## ▶ 売上高

- 対前年同期比 +12.8%
- +要因：MP製品前年実績 144百万円 (4台)  
→498百万円 (10台)  
砕石・リサイクル向けが堅調に加え、ODAウクライナ復興支援案件も加わり、前年比増で進捗
- △要因：宇部興機 対前年同期比 △60.6%  
他土農工具 (ショベル・スコップ)、破碎機などの売上高が対前年同期マイナス

## 営業利益・営業利益率



## ▶ 営業利益

- ・営業利益 対前年同期比 +235.5%
- ・営業利益率 対前年同期比 +4.0pt

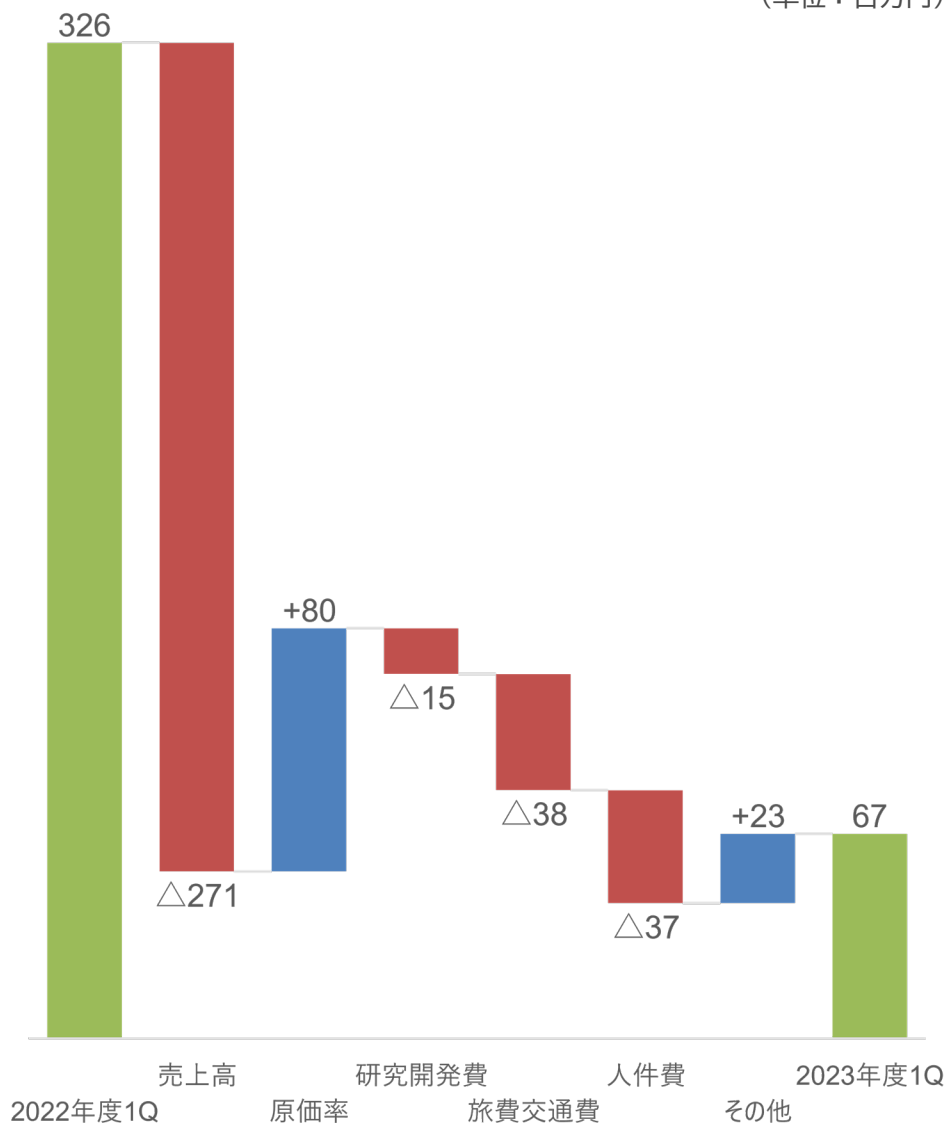
## ★その他事業の売上構成

- 仮設機材 20.3%、防水板・水門 10.1%、土農工具 10.8%、モバイル29.5%、破碎機 3.2%、開発・外販7.9%、宇部興機 10.3%、他 7.8%

# 2023年度1Q 経常利益 増減要因分析

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

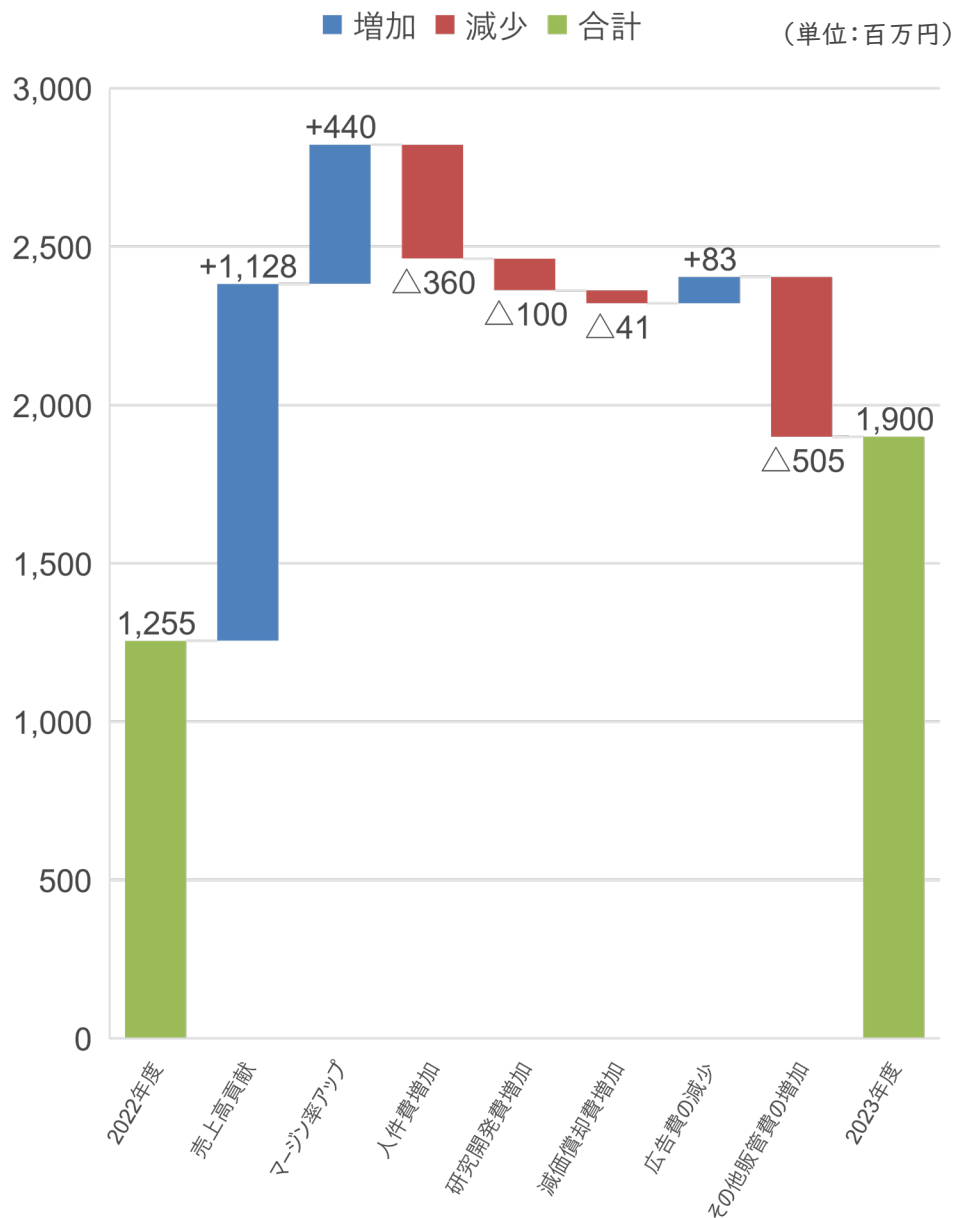
(単位：百万円)



項目	影響額	内容
売上高貢献	△271	売上高の減少 1,059百万円
原価率	+80	原価率改善 74.4%→73.4%
研究開発費	△15	開発費用の増加
旅費交通費	△38	COVID-19が収束 出張の増加
人件費	△37	人員増、 ベースアップ
その他	+23	受取配当金の増加 24百万円



# 2023年度通期 経常利益 増減要因分析 (予想)



(単位:百万円)

項目	影響額	内容
売上高貢献	+1,128	売上高の増加 +3,154
マージン率 アップ	+440	値上げによる 1%の改善
人件費増加	△360	賃金アップ △200 人員増加 △160
研究開発費	△100	
減価償却費	△41	
広告費減少	+83	22年度にあった 日エメッセ分剥落
その他販管費の 増加	△505	

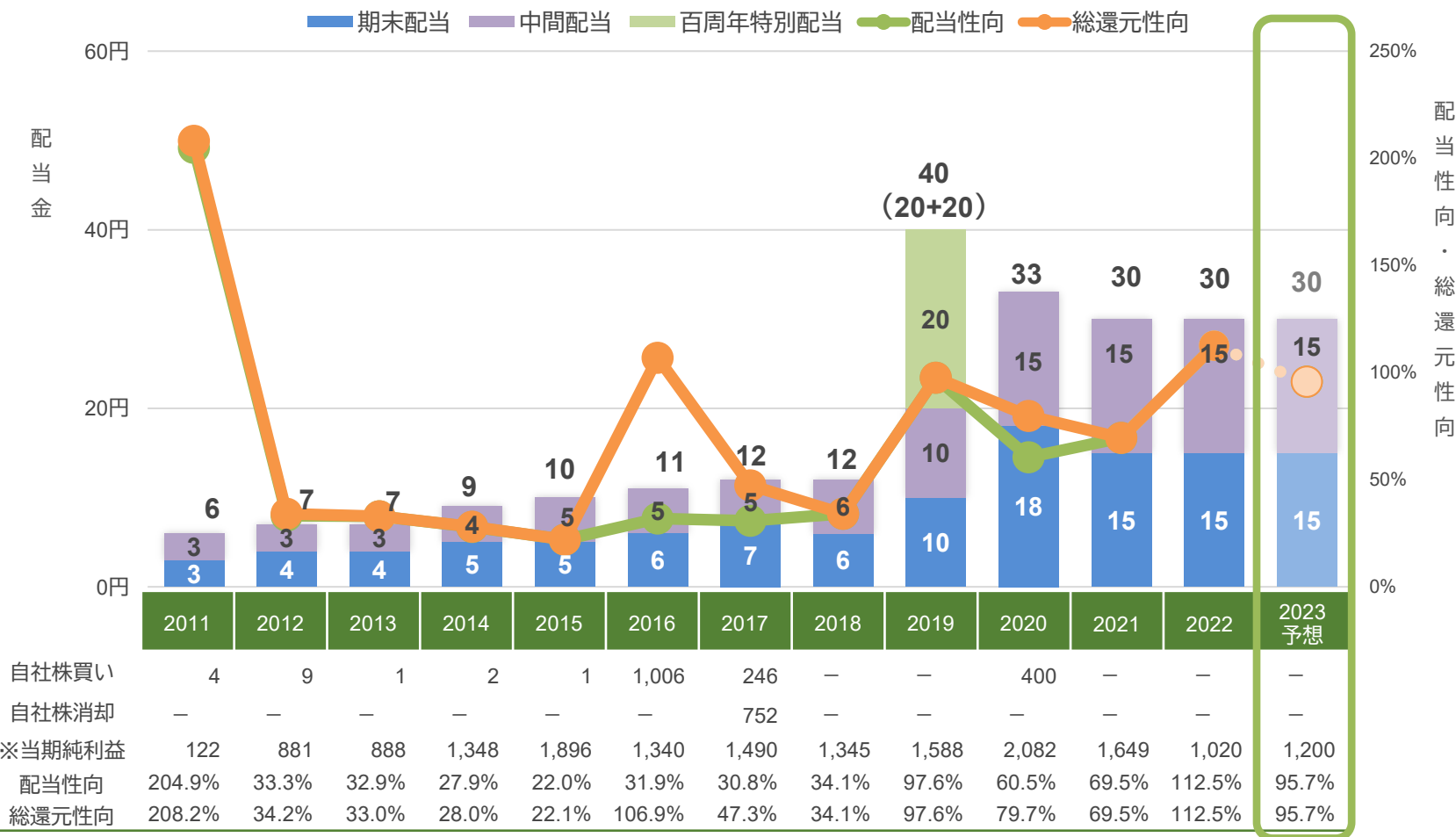
# バランスシートの推移

(単位：百万円)

		2022年度末	2023年度1Q	増減	増減の主な要因
資 産	流動資産	33,723	33,209	△513	増加：現金及び預金 +1,480百万円 仕掛品 +1,079百万円 減少：受取手形及び売掛金 △2,320百万円 電子記録債権 △144百万円 その他 △639百万円
	有形固定資産	11,839	12,384	+544	増加：土地 +161百万円
	無形固定資産	1,020	994	△25	建設仮勘定 +539百万円 投資有価証券 +912百万円
	投資その他	5,544	6,223	+679	減少：機械装置及び運搬具 △171百万円 繰延税金資産 △233百万円
総 資 産 合 計		52,127	52,812	+684	
負 債	流動負債	15,338	15,147	△191	増加：未払金 +380百万円 契約負債 +614百万円 その他 +115百万円 長期借入金 +736百万円
	固定負債	5,184	5,897	+712	減少：支払手形及び買掛金 △746百万円 未払法人税等 △190百万円 賞与引当金 △261百万円 受注損失引当金 △104百万円
純 資 産 合 計		31,604	31,766	+162	増加：その他有価証券評価差額金 +631百万円 減少：利益剰余金 △546百万円
1 株 当 たり 純 資 産 ( 円 銭 )		826.73	831.51	+4.78	

2024年3月期の配当金予想30円（中間15円、期末15円、配当性向95.7%）

中期経営計画において**配当性向60%以上**とする方針



★2019年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、分割後の配当金額に統一して記載しています  
 ※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）

# 売上高・利益・キャッシュフロー等の推移

(単位：百万円)

	21年度				22年度				23年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,817	10,191	8,157	11,681	9,504	9,256	8,369	12,536	8,446			
AP関連事業	5,058	4,131	4,176	4,963	4,982	3,670	4,433	4,256	3,795			
BP関連事業	1,972	3,617	1,690	3,561	2,381	2,933	1,330	4,467	2,313			
環境及び搬送関連事業	424	1,157	614	823	640	582	916	750	643			
その他事業	1,361	1,286	1,678	2,335	1,501	2,070	1,688	3,065	1,693			
営業利益	375	593	59	1,026	183	216	32	661	△99			
AP関連事業	199	189	△61	235	139	7	107	190	△92			
BP関連事業	196	413	58	456	211	294	2	510	169			
環境及び搬送関連事業	66	177	136	209	147	89	82	204	126			
その他事業	157	160	306	450	31	222	163	628	104			
全社費用	△244	△345	△382	△322	345	382	388	490	△407			
経常利益	519	586	89	1,079	326	222	19	726	67			
親会社株主に帰属する当期純利益	378	489	838	△59	140	119	35	796	27			

営業CF	2,224				△1,644				—			
投資CF	△2,165				△1,226				—			
配当金総額	683	—	573	—	573	—	574	—	574	—	—	—
自社株取得額	0				0				—			

# 事業別受注高と受注残高の推移（累計ベース）

（単位：百万円）

受注高（累計）	21年度				22年度				23年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	4,519	9,048	13,072	18,180	5,094	8,115	12,705	17,614	5,227			
BP関連事業	3,142	5,646	8,442	12,086	2,799	5,102	7,921	11,461	2,502			
環境及び搬送関連事業	523	1,286	2,025	3,014	604	1,215	1,921	2,456	1,002			
その他	1,568	2,820	4,606	6,572	1,719	4,515	6,669	9,316	2,044			
合計	9,753	18,802	28,146	39,853	10,217	18,949	29,217	40,849	10,777			

期末受注残高	21年度				22年度				23年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AP関連事業	7,696	8,094	7,942	7,725	7,837	7,188	7,344	7,998	9,430			
BP関連事業	5,678	4,565	5,672	5,755	6,173	5,544	7,032	6,105	6,295			
環境及び搬送関連事業	734	341	466	631	596	606	396	182	540			
その他	1,187	1,154	1,261	2,377	2,595	3,321	3,787	3,369	3,720			
合計	15,298	14,155	15,342	16,490	17,202	16,660	18,560	17,656	19,987			

(単位：百万円)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
設備投資	844	815	877	1,261	550	1,889	1,483	2,748	1,907	2,214
減価償却費	395	422	487	482	472	508	611	677	759	990
研究開発費	295	276	227	271	291	211	379	392	449	576

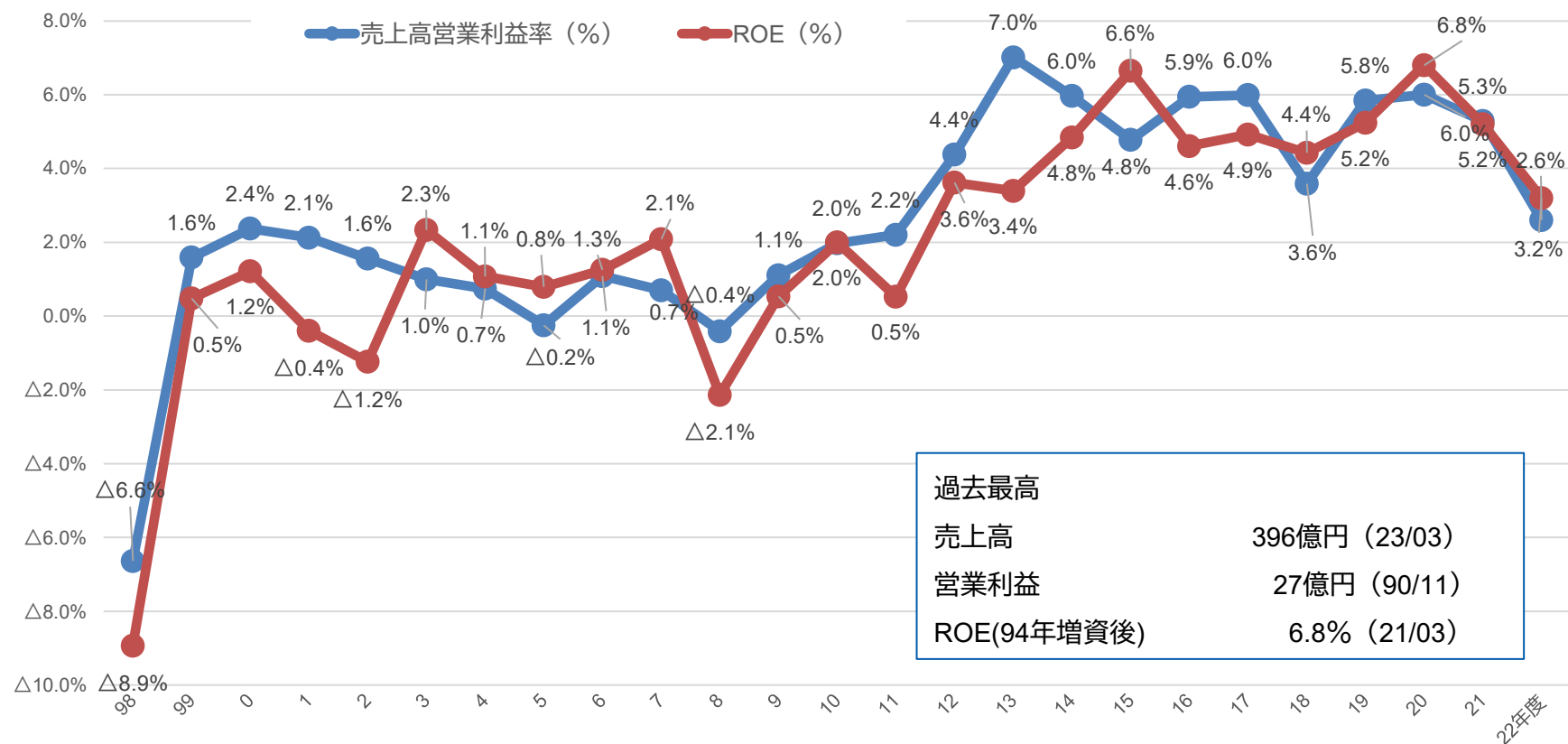
(単位：人、歳、年)

連結従業員数	767	796	803	797	807	799	838	861	1,038	1,064
従業員平均年齢(単体)	43.3	43.1	42.2	42.3	42.2	40.9	41.1	41.1	40.8	40.3
平均勤続年数(単体)	20	19.3	18.2	18.5	18.3	16.0	15.8	15.4	15.3	14.7
女性社員数(単体)	31	33	39	42	42	45	51	55	59	69
新卒採用者数(単体)	21	21	30	17	19	15	14	13	29	32
新卒女性社員採用数(単体)	1	3	1	2	0	0	0	0	3	6
女性社員採用割合(単体)	4.7%	14.2%	3.3%	11.7%	0%	0%	0%	0%	10.3%	18.8%
外国人採用数(単体)	6	0	0	0	1	1	0	1	0	8
外国人従業員数(単体)	8	6	6	6	7	8	5	5	6	13
外国人従業員(連結)	91	95	94	93	101	98	116	116	194	205
海外従業員数(連結)	91	95	92	91	101	98	123	121	197	214

## 環境負荷軽減新製品

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2022年度
新製品名	【砂専用乾燥装置】 【高温予熱バーナ】	【NTB-II バーナ】	【新型バグフィルタ】	【VPシリーズAP】	—	【フォームドAS製造装置】	【粉体燃焼バーナ】
環境負荷軽減項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント生産効率UP</li> <li>・省エネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネルギー</li> <li>・燃焼領域での燃焼効率UP</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省スペース</li> <li>・省エネルギー</li> <li>・排ガス量低減</li> <li>・低騒音</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生材の臭気ガス拡散防止</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中温化合物の製造対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粉体バイオマス燃料の燃焼を目的</li> <li>・バーナ燃焼時の低炭素化</li> </ul>

## 営業利益率・ROE

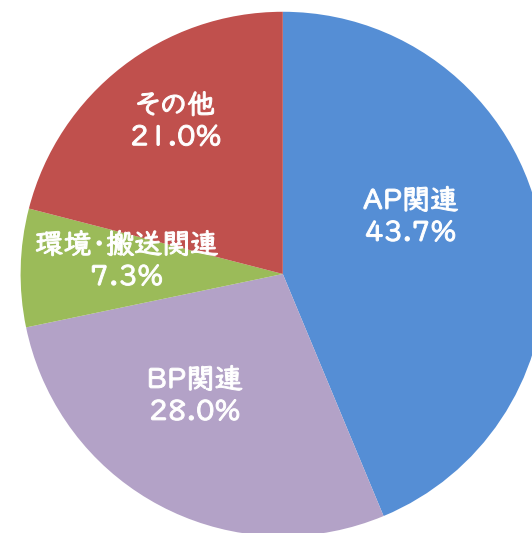


(単位: 百万円)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22年度
売上高	22,595	23,170	24,307	24,812	24,864	22,175	25,035	26,942	23,856	23,971	23,803	24,553	27,087	32,073	30,707	34,110	32,717	35,114	31,780	35,151	37,866	38,846	39,665
営業利益 (損失)	536	492	379	248	185	△55	271	189	△98	265	470	541	1,186	2,249	1,832	1,629	1,944	2,103	1,427	2,053	2,302	2,053	1,028
経常利益	846	664	688	492	537	350	699	545	482	899	812	621	1,108	1,982	1,582	1,648	1,993	2,239	1,576	2,142	2,973	2,274	1,255
当期純利益 (損失)	298	△93	△284	567	265	203	315	513	△499	124	461	122	881	888	1,348	1,896	1,340	1,490	1,345	1,588	2,082	1,649	1,020

会社名	日工株式会社 (Nikko Co., Ltd)	
本社住所	兵庫県明石市大久保町江井ヶ島1013-1	
創立	1919年(大正8年)8月13日	
資本金	91億97百万円	(2023年3月末)
連結売上高	396億65百万円	(2023年3月期)
連結営業利益	10億28百万円	(2023年3月期)
海外売上高比率	14.7%	(2023年3月期)
子会社数	11社	(2023年3月期)
連結従業員数	1,064名	(2023年3月末)
企業統治体制	監査役会設置会社 取締役9名(うち社外4名) 監査役4名(うち社外3名)(2023年3月末)	

## 事業別売上構成比率(2022年度)



※AP=アスファルトプラント  
BP=バッチャープラント(コンクリート)



## 経営理念

日エグループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、お客様に真に満足いただける製品とサービスを提供するとともに、広く社会から信頼され、お客様と共に発展する“ソリューションパートナー”となることを使命に、自己変革してまいります。

取締役社長 **辻 勝**



## AP関連事業



### 主要製品

- アスファルトプラント
- リサイクルプラント
- 破砕プラント
- 合材サイロ
- 電子制御機器、工場管理システム



**ABD**  
多様なニーズに対応可能なオーダーメイドモデルAP

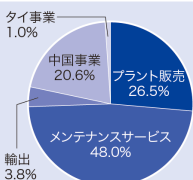
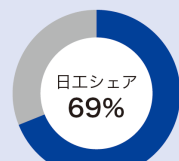


**VP II**  
リサイクルをメインとしたエコロジカルモデルAP



**CBD**  
タイ・東南アジア市場へグローバルモデルAP

市場シェア (日工調べ)



## BP関連事業



### 主要製品

- コンクリートプラント
- コンパクトコンクリートプラント
- コンクリートポンプ
- 電子制御機器、工場管理システム
- コンクリート製品生産用工場設備等



**DASH-H275EvoV Twin-ADV**  
超高強度コンクリートプラント

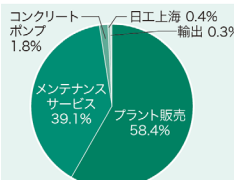
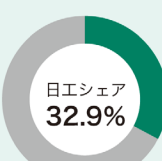


**DASH-H167 Pro065T**  
大型プレキャストコンクリートプラント



**ONZEMIX-T50**  
Mobile BP

市場シェア (日工調べ)



## 環境及び搬送関連事業



### 主要製品

- ベルトコンベヤ、設備用コンベヤ、缶・ビン選別機
- 油污染土壤浄化プラント、プラスチックリサイクルプラント



**モジュラーコンベヤ**  
10cm刻みで長さ調整ができるパイプフレーム構造のコンベヤ

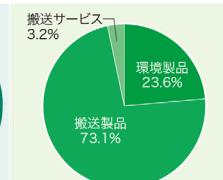
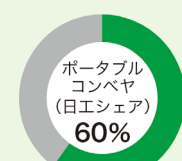


**石膏系固材製造設備**  
石膏粉を乾燥し半水石膏を製造。セメントや石灰とブレンドし固材を製造する設備です。



**スーパーモジュラーコンベヤ**  
安全性を重視した簡易密閉タイプの鋼板フレーム構造のコンベヤ

市場シェア (日工調べ)

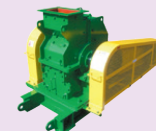


## その他事業



### 主要製品

- パイプ砕組足場、鋼製道板
- アルミ製仮設昇降階段 ●シヨベル、スコップ
- 小型コンクリートミキサ、モルタルミキサ
- 水門、防水板、破砕機 ●不動産賃貸、建設機械製品リース ●住宅リフォームの販売等



**ハンマークラッシャー**  
ロストルサイズにより粒度調整ができ、1回の破砕で希望粒度へ

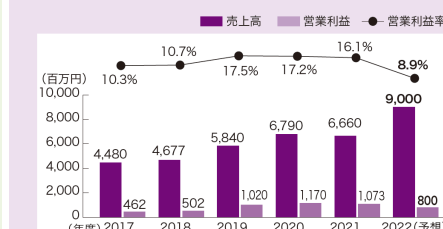
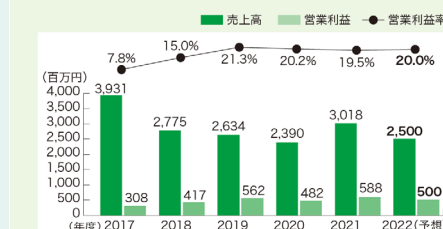
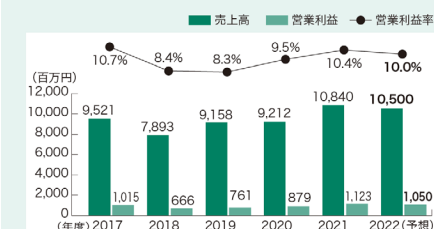
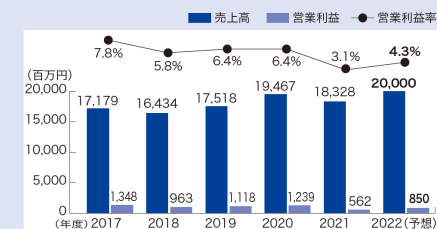
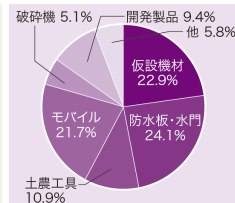
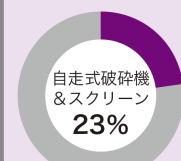


**モバイルプラント**  
自走式破砕機ライン  
自走式：破砕機・スクリーン・ベルトコンベヤ



**防水板**  
地球温暖化による水害（内水氾濫）に威力を発揮する防水板

市場シェア (日工調べ)



製品展開	生産拠点展開	海外展開	国内グループ展開 (買収・譲渡含む)
1919 創立 トンボ印の農土木工具	1919 本社工場	1994 独ニッコーバウマーシーネン	1968 市石工業所 (M&A)
1951 コンクリートミキサー ・ウィンチ	1938 産機工場	1997 台湾台北	1971 日工電子工業 (設立)
1956 生コンプラント	1968 東京工場	2001 日工 (上海) 工程機械	1983 日エマシナリー (設立)
1958 アスファルトプラント	1994 幸手工場	2020 日エアジア (タイ)	1994 トンボ工業 (設立)
1962 パイプサポート	2004 上海嘉定工場	2020 日エニルコソル (タイ)	1995 日エセック (設立)
1963 パイプ足場	2014 加古川工場		2002 新潟鉄工所 (事業譲受)
1966 コンベア・搬送システム	2016 福崎工場		2006 三菱重工業 (事業譲受)
1983 水門			2008 前川工業所 (M&A)
2000 油汚染土壌浄化システム			2022 宇部興機 (M&A)
2001 廃プラスチック処理システム			2023 松田機工 (M&A)
2007 コンクリートポンプ			
2010 防水板			
2015 移動式破碎機 (輸入販売)			



## 日エグループ経営ビジョン

*n*からはじまる未来創造

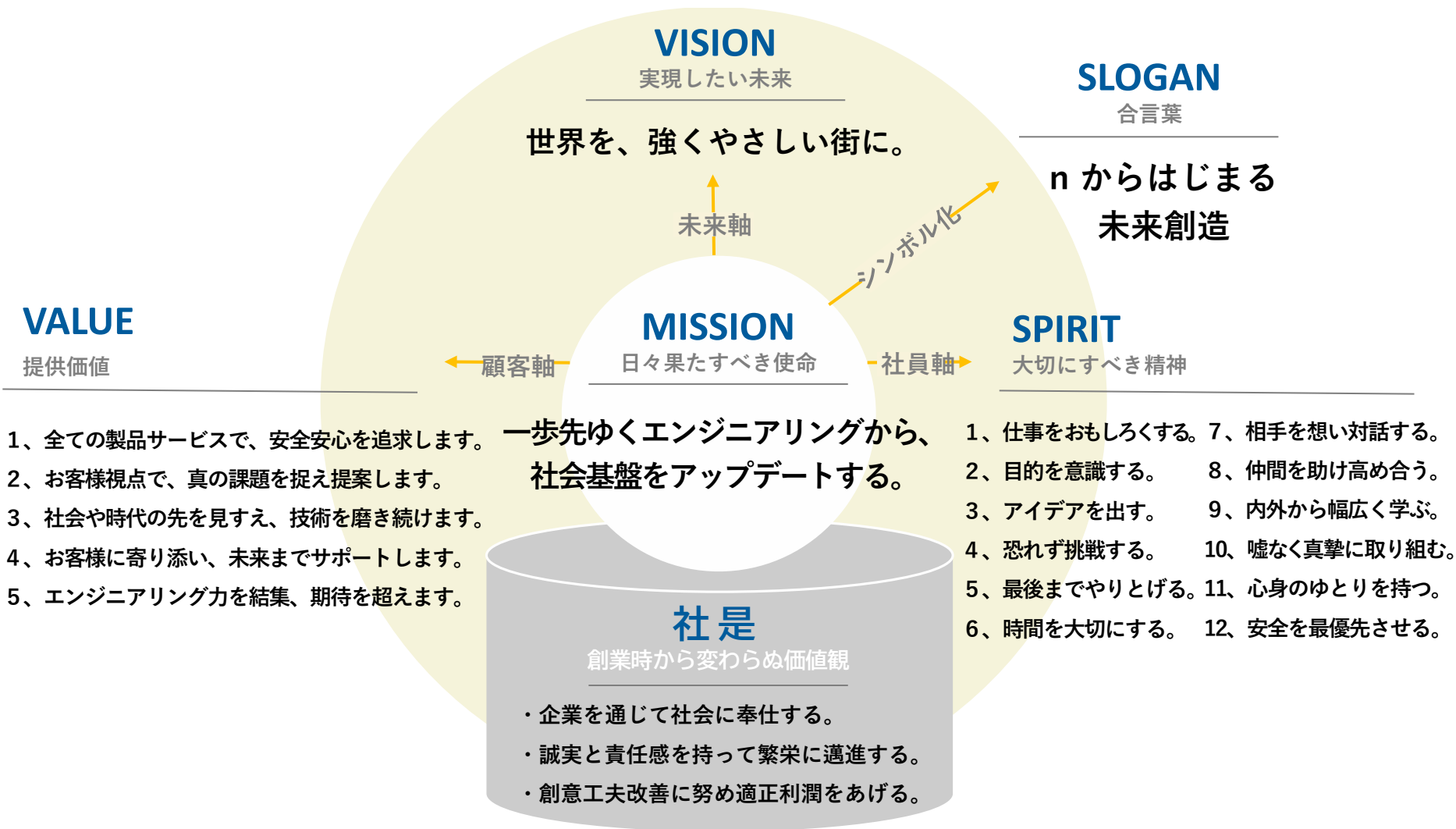
アスファルト・バッチャープラントのリーディングカンパニーであり続けます。

海外事業を拡大しアジアマーケットにおけるNo.1メーカーを目指します。

当社のコア技術「加熱」「混練」「搬送」「制御」をブラッシュアップし事業拡大を行います。

社会貢献できる未来創造企業であり続けます。

代表取締役社長 **辻 勝**



## 社会課題と業界変化(リスクと機会)

- ◆カーボンニュートラルへの対応
- ◆炭材の再資源化と循環型社会の確立
- ◆デジタル化の加速
- ◆災害の激甚化と早期復興
- ◆少子高齢化/労働人口の減少
- ◆ESGに対する意識の高まり

## 2030年日エグループビジョン

高い技術に裏打ちされたプラント設備・環境製品のトップメーカー  
且つ、運用・保全サービスによる顧客の経営パートナー

### INPUT (事業基盤)

#### 財務資本

- ◆ 強固な財務基盤と潤沢なキャッシュ
- 2024年度末で総資産585億円、純資産340億円

#### 製造資本

- ◆ 2030年ビジョンを見据えた設備投資
- 2022~2024年度で設備投資60億円

#### 人的資本

- ◆ 人員増に加えて、多様性/働き方の改革
- 2022~2024年度で日エ単体145名増員

#### 知的資本

- ◆ コア技術を活かしたビジネスモデル変革
- 2022~2024年度で研究開発費25億円強

#### 社会・関係資本

- ◆ ソリューションパートナーとしての信頼
- 2021年度末のアキツ会195社

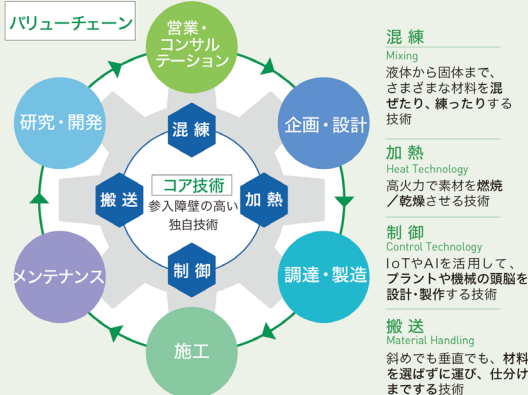
#### 自然資本

- ◆ エネルギーと水資源などの有効活用

### 事業活動 (ビジネスモデル)

#### 新中期経営計画(2022~2024)

- |  |  |
|--|--|
| <p>〈ビジネス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ AP, BPプラント標準化</li> <li>◆ 搬送PコンEC化、ストリンガーコンベヤ取り扱い</li> <li>◆ 海外APのインドネシア・ベトナム進出</li> </ul> | <p>〈内部機能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ グローバルマーケティング機能、DX推進機能</li> <li>◆ 新規ビジネスの強力販売体制の構築</li> <li>◆ 人材マネジメント基盤・制度の再構築</li> </ul> |
|--|--|



- サステナビリティ経営      マテリアリティ
- 経営理念   コーポレートアイデンティティ   コーポレートガバナンス

### OUTPUT (事業価値)

#### 事業の変容

- ◆ 国内AP関連事業
- ◆ BP関連事業
- ◆ メンテナンス/サービス事業
- ◆ 運用・保全サービスの強化

#### 技術を活かした規模拡大

- ◆ 海外AP関連事業
- ◆ 環境及び搬送関連事業
- ◆ その他事業
- ◆ 製品・市場の横展開

#### 2024年度財務目標

- ◆ 売上高 500億円
- ◆ 営業利益 30億円 (営業利益率 6%)
- ◆ ROE 6.0%
- ◆ 配当性向 60%以上継続

### OUTCOME (社会的価値創造)

#### 貢献する社会・環境価値

- ◆ 環境に配慮した循環型社会の確立
- ◆ 脱炭素社会実現への貢献
- ◆ 防災・減災への貢献
- ◆ 自然災害からの早期復旧支援
- ◆ 地域社会との共生

#### 創出する経済価値

- 〈ビジネス〉
- ◆ 遠隔化・自動化サポート、トータル管理システム
  - ◆ 環境対応製品の本格展開
  - ◆ 海外APのASEAN展開
- 〈内部機能〉
- ◆ 運営支援センター開設・本格稼働
  - ◆ テクノロジーによる自動化・遠隔化
  - ◆ 生産プロセス見直し、本社工場の組立集中

#### 2030年度財務目標

- ◆ 売上高 600億円
- ◆ 営業利益率 10.0%
- ◆ ROE 10.0%
- ◆ 時価総額 500億円

実現  
したい  
未来

世界を、強くやさしい街に



一歩先ゆくエンジニアリングから、  
社会基盤をアップデートする。

ミーティングのご希望などございましたら、お気軽に以下宛ご連絡ください  
(オンラインミーティング、東京でのミーティングも可能です)

TEL 078-947-3141 IR-nikko@nikko-net.co.jp

日工株式会社 財務部 八軒(はちけん)宛

- 当資料に記載されている将来の見通しなどについては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。
- 当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、商品需給、新技術の進展などにより、今後において業績見通しの変動するなどのリスクや不確実性を含んでおります。従いまして、投資判断を決定する場合には、当資料の将来の見通しのみには依拠することは、お控えくださるようお願い申し上げます。
- また、当資料の将来の見通しに関する記述につきましては、法律上その手続きが必要となる場合を除き、事前予告なく変更する事もありますので、ご了承ください。